

広報
OC

まつざき

2010
(平成22年)
1
No. 548

迎 春

乗り初め（雲見海岸）



謹賀新年

新春を迎えた皆様のご健康とご多幸を
心よりお祈り申し上げます
本年も何卒よろしくお願ひ申し上げます

平成二十二年元旦



松崎町長 斎藤文彦

町民の皆様には、輝かしい平成二十二年の新春をお迎えのことと、心からお慶びを申し上げます。

新年にあたり、新町長としての私の抱負は、昭和五十三年より推進され、松崎のまちづくりの原点となつている「花と口マンのふるさとづくり」に全力投球で取り組んでいく決意です。

私の考える平成の「花と口マンのふる里づくり」は、松崎らしい田舎づくり、人づくり、少子高齢化を土台にしたまちづくりです。

現在、世界経済は、二〇〇八年のリーマンショックに端を発する金融危機に続き、昨年十一月には、ドバイショックによる円高株安といった不況の嵐の中にあります。

日本経済もこれらの影響を受け、輸出産業の低迷や、デフレの進行により、若者の就職難や派遣労働者の解雇といった嵐の中にあります。

この嵐は、町の基幹産業である観光にも大きな影響を及ぼしています。

しかし、私は、皆様一人一人が、自らのことは自らで決め行動する自己改革、意識改革に取り組み、我が町を誇りに思う強い心を持つていただければ、どんな嵐がきても耐えられる町が出来あがると確信しています。

炊いたお米の一粒一粒が立っているとおいしいご飯になると同様に、一人一人が松崎の大地に自立しましよう。

そして、活気ある元気な松崎をつくるために一緒に汗を流してください。

この一年が皆様にとって、幸多き年でありますようにご祈念申し上げ、新年の挨拶とします。



町議会議長

一瀬壽



消防団長

内田址延



輝かしい新春を迎へ、心新たに希望に満ちた明るいまちづくりを目指し、寅年にちなみ、勇敢・機敏に町政に対し議会活動をしてゆく所存であります。

観光地伊豆にとりましては、貴重な自然遺産を観光教育資源として活用するジオパーク構想が発表されました。今後は近隣市町と連携し、大いなる観光の飛躍を図りたいものであります。

地方分権の目標は福祉、教育、まちづくりなど、地方の役割を果たし、活力に満ちた社会を実現することにあります。

わが町では経済活動が大変厳しい環境にありますが、より一層努力し、住み良いまちづくりにまい進する所存であります。

本年も変わらぬご支援を心からお願い申し上げ、皆様のご健勝とご活躍をお祈りしまして、年頭のご挨拶と致します。

平成二十二年の輝かしい新春を迎へ、謹んでお慶び申し上げます。

皆様方には平素より防火防災に深いご理解と、消防団に対する格別のご支援とご協力をいただき厚くお礼申し上げます。

昨年を顧みますと、火災においては、建物火災もなく、軽微な林野火災一件で済みましたが、自然災害に目を向けますと、八月の駿河湾沖地震、十月の台風十八号と自然の猛威をつけ付けられた年でした。

我々消防団を取り巻く環境は、少子高齢化に伴い、団員の確保が難しくなるなど、ますます厳しくなつておりますが、更なる団結強化を図り、あらゆる災害において皆様の負託に応える活動ができるよう精進していく所存です。

本年も変わらぬご支援をお願い申し上げると共に、皆様のご多幸と本年の無災害を祈念申し上げ、新年の挨拶と致します。

任期満了に伴う松崎町長選挙

齋藤文彦新町長が誕生

任期満了に伴う町長選挙が十二月一日（火）に告示されましたが、立候補者が齋藤文彦氏のみであったため、無投票で齋藤氏の当選が決定しました。



当選証書を受ける齋藤文彦新町長

松崎町議会議員補欠選挙

井上定氏が当選

松崎町議会議員の辞職に伴う補欠選挙が十二月一日（火）に告示され、ともに新人の井上定氏（江奈）と吉田猛氏（吉田）が立候補しました。

十二月六日（日）に町内十五会場で投票が行われ、即日開票されました。

開票結果は、次表のとおりとなり、井上氏が当選しました。

なお、井上氏の任期は、平成二十三年四月二十九日までとなります。

松崎町議会議員補欠選挙開票結果	
当選	1,973票 井上 定
	1,262票 吉田 猛
【当日有権者数】	6,883人
【投票者総数】	3,382人
【有効投票数】	3,235票
【無効投票数】	147票
【投票率】	49.14%



1区

町の部十一位でゴール

県内三十七市町、四十一チームが参加しタスキをつなぐ、第十回記念静岡県市町村対抗駅伝競走大会が、十二月五日静岡市を舞台に開催されました。

大会当日は、時折雨の降る寒いコンディションとなりましたが、松崎町チームは一致団結しタスキをつなぎ、町の部十一位、チーム歴代二位の二時間三十四分十八秒でゴールしました。

町民の皆様には、練習から大会当

日まで、あたたかい応援をいただき、ありがとうございました。



7区→8区



3区→4区



1区→2区

松崎町チーム大会記録

区間	氏名	距離	記録	区間順位(町の部)	チーム順位(町の部)
第1区 ジュニアA(女子)	関 まどか	3.974km	14分54秒	10位	10位
第2区 小学生(男子)	平野 高義	1.848km	6分43秒	12位	10位
第3区 小学生(女子)	平野 文珠	1.469km	5分06秒	4位	8位
第4区 40歳以上(男女不問)	佐藤 文彦	3.549km	11分25秒	2位	7位
第5区 ジュニアA(男子)	船津 弘貴	5.810km	19分06秒	5位	7位
第6区 一般(女子)	土屋 貴子	4.340km	18分11秒	9位	9位
第7区 中学生(男子)	佐藤 修平	3.760km	12分58秒	6位	8位
第8区 中学生(女子)	深澤友里絵	3.020km	13分00秒	14位	8位
第9区 ジュニアB(女子)	高見 美喜	4.670km	20分07秒	14位	11位
第10区 ジュニアB(男子)	石田 達也	4.310km	13分50秒	4位	9位
第11区 一般(男子)	佐藤 玖昭	5.445km	18分58秒	13位	11位
総合記録		42.195km	2時間34分18秒		11位



ゴール



小学生 1500m

種目	区分	氏名	記録	順位(町の部)	大会当日、小学生を対象に草薙総合運動場陸上競技場で行われた1500m走です。
小学生1500m	男子	大場 勇作	5分 8秒80	8位	
	女子	高見 育美	5分20秒89	3位	

第26回 松崎町史跡めぐり駅伝大会

町内の史跡をめぐり小・中学生37チームが力走

各部門の優勝チーム



《小学生男子》 松崎野球 S S (松小)
37分30秒



《小学生女子》 RAINBOW (松小)
41分24秒



《中学生男子》 3年男子強化選抜
33分47秒



《中学生女子》 わかちこ わかちこ
41分55秒



この大会は、心身の練成と青少年の健全育成を目的に開催されているもので、今回は小学生の部に十五チーム、中学生の部に二十二チームが参加しました。当日は、天候にも恵まれ、選手たちは、重文岩学校、沢谷城など町の歴史にかかる地点を中継するコースでタスキをつなぎ、ゴールを目指しました。沿道からは、家族や同級生たちの、盛んな声援が送られました。

大会が、十二月十三日（日）、松崎港をスタート、松崎小学校をゴールとする五区間、九・七七キロのコースで行われました。

第二十六回史跡めぐり駅伝

区間賞

区間	部門	氏名	チーム名	学年	記録
第1区 (2,100m)	小学生	男子 大場 勇作	松崎野球 S S	松小6年	7分30秒
		女子 高見 育美	R A I N B O W	松小5年	7分40秒
	中学生	男子 佐藤 修平	3年男子強化選抜	3年	6分52秒
		女子 深澤友里絵	一般女子	3年	8分37秒
第2区 (1,750m)	小学生	男子 野木沼悠佳	松男	5	松小6年 6分57秒
		女子 佐藤 実紗	スマイルハッピーズ	松小6年	7分49秒
	中学生	男子 福本 昂太	3年男子強化選抜	3年	6分28秒
		女子 細田 成美	女子バレーボルB	2年	7分40秒
第3区 (2,070m)	小学生	男子 大場 康平	ハリケーンランナーズ	松小5年	7分42秒
		女子 土屋 来夢	松小5の1ガールズ	松小5年	8分44秒
	中学生	男子 稲葉 隼人	3年男子強化選抜	3年	7分08秒
		女子 斎藤 明里	わかちこわかちこ	2年	8分07秒
第4区 (1,850m)	小学生	男子 藤井 玲輔	松崎野球 S S	松小6年	6分59秒
		女子 稲葉日向子	J r バレ一	松小6年	8分02秒
	中学生	男子 馬場 稔紀	ダイヤのA	2年	6分45秒
		女子 高橋 海月	一般女子	3年	7分26秒
第5区 (2,000m)	小学生	男子 平野 高義	松崎野球 S S	松小6年	7分13秒
		女子 平野 文珠	スマイルハッピーズ	松小6年	7分14秒
	中学生	男子 土屋慎之助	3年男子強化選抜	3年	6分27秒
		女子 蝦名 有紗	わかちこわかちこ	2年	8分05秒

■は区間新記録

～まちのできごと～



11/20
第2回静岡県景観賞優秀賞を受賞

那賀耕地の農閑期の田んぼをお借りして実施している「田んぼをつかった花畠」が第2回静岡県景観賞優秀賞を受賞しました。



12/19～20
安曇地区訪問団来町

地域交流を行っている松本市安曇地区から訪問団19人が松崎町を訪れ、ポンカン狩り体験や光る泥だんご作り体験などを楽しみました。



12/11
お飾り作り体験

中川小学校では、中川地区の方々を講師に招き、お正月のお飾り、しめ縄作りを通して、地域内での世代間交流を行いました。



12/21
松崎中学校福祉カレンダー配布

松崎中学校生徒会が中心となって毎年製作している「夢ロマンカレンダー」が完成し、一人暮らしのお年寄りや、老人世帯に配布されました。

松崎で生まれ、松崎で生活の糧を得ていることに私は感謝します。
山、川、海の豊かな自然是、私にとって魔法の空間です。
恵まれている松崎の空間は、私にとって魔法の空間です。
海が目の前にある生活をしている私にとって、海は身体の一部です。漢字の海の中には母がいます。海の中にも母がいます。海は生きの基です。

夕焼けの海に潜ると海中が黄金色に輝き、まさに桃源郷です。羊水内はこのような感じではなくかと想像します。母に抱かれて安心して身を任す子どもの気持ちになります。精神的に参つているときは、海に潜ることをお勧めします。

海と山は恋人、川は仲人、松崎の豊かな海は、豊かな山と川によって支えられています。このシ

町長室からこんにちは ①



松崎町長
齋藤文彦

ステムを壊さないことです。水は高い所から低い所に流れ、人間は低い所から高い所に流れます。
自然に恵まれ、心豊かに安心して暮らせ、伝統と文化の香り高い松崎に人が流れてくるよう志を高く、自然を大切に守ることが松崎の活性化に繋がります。
町民の皆様も、協働パートナーとして一緒に歩んでください。

海

21世紀 松崎町三つの実践運動「あいさつ・返事・後しまつ」

町の人口と世帯

(平成21年11月30日現在)

() 内は前月比	
総人口	8,097人 (-10人)
男	3,830人 (-8人)
女	4,267人 (-2人)
世帯数	3,152戸 (+2戸)
転入 出	9人 転出 6人 出生 4人 死亡 17人

広報まつざき

二〇一〇年一月一日発行

町の交通事故

平成21年11月30日現在

() 内は前年同月比	
人身事故	2件 (-6)
物損事故	11件 (+6)
死者	0人 (±0)
傷者	3人 (-6)

市内に於ける交通事故の内訳を示します。
 () 内は前年同月比
 人身事故 2件 (-6)
 物損事故 11件 (+6)
 死者 0人 (±0)
 傷者 3人 (-6)

骨粗鬆症に気づく場合には、次のように気をつけましょう。
 ①骨密度を低下させないためにカルシウムを多く摂る。②日光に当たる。③筋力やバランス機能を低下させないために体を動かす。④家中で転びやすい所はないか確認し、改善しておく。(マット、コードなど) ⑤カルシウムの吸収を悪くするタバコやお酒は控える。
 日頃の小さな積み重ねで骨折を防ぎましょう。

地区	氏名	年齢	届出人
宮内	鈴木 静夫	89	八壽
道部	宮内 しか	102	昭二
江奈2	高柳 好子	77	正夫
江奈1	石田 明	61	衛
江奈2	藤野 捨次郎	80	晃男
明伏	山本 茂	81	徳惠
雲見	鈴木 明	77	仁
山口	菊池 右二	84	久子
江奈2	藤池 うめ子	89	秀雄
岩地	斎藤 一雄	85	アリ子
道部	高木 瞳夫	69	京子
北区	石田 トミ	88	芳雄
伏倉	杉山 吉平	100	久雄

※この欄に掲載を希望されない場合は、お申し出ください。

(11月届出分) 戸籍だより

おめでとうございます(出生)

地区	氏名	性別	保護者
伏倉	いぶき 芽季	女	山本 浩二
船田	みず 涼	女	井出 正吉
江奈2	かん 實太	男	鈴木 英樹
江奈3	のは乃	女	田所 重喜

おくやみ申し上げます(死亡)

地区	氏名	年齢	届出人
伏倉	小笠原 喜一	74	いね子
岩地	齊藤 ふじ	80	和敏

骨はからだを支えたり、内臓を保護したり、カルシウムを蓄える役割を持っています。

しかし、骨密度や筋力が低下していくと、骨折する危険性が高まり、骨折をきっかけとして介護が必要になつたり、生活の質が低下してしまいます。実際、町で介護保険を申請する原因として、脳血管疾患に次いで多いのが、骨折や関節の病気となっています。

身長が縮んだことや圧迫骨折などで骨粗鬆症に気づく場合もありますが、実際は知らない間に、症状もなく長い年月をかけて、骨が弱くなつていくことが多いといわれています。

骨折を防ぐためには、次のようなことに気をつけましょう。①骨密度を低下させないためにカルシウムを多く摂る。②日光に当たる。③筋力やバランス機能を低下させないために体を動かす。④家中で転びやすい所はないか確認し、改善しておく。(マット、コードなど) ⑤カルシウムの吸収を悪くするタバコやお酒は控える。

競技会場となる明治北海道十勝オーバルは、昨年の九月

す。

両大会とも、アジアそして世界の頂点に挑む迫力のある滑りを観戦することができます。

骨折を防ぎましょう

保健師だより

帯広市から

姉妹都

市通信

スピードスケートの世界大会

帯広市から

姉妹都

市通信

にオープンした日本で二番目となる屋内のスピードスケート場で、これまでの大会においても好記録が出ており、選手からも滑りやすいとの評価を得ています。

いよいよ本年二月に冬季オリンピックがカナダのバンクーバーで開催されます。

これまで多くのオリンピック選手を輩出したスピードスケート王国帯広・十勝においても、地元出身選手に対する期待が日増しに高まっています。

オリンピックを目前に控えた一月には、九・十日にアジアのトップスケーターが競う

「アジア選手権大会」、十六・十七日には世界のトップスプリンターが集結する「世界スピードスケート選手権」といったス

ピードスケートの世界大会が、帯広の地で二週続けて開催されます。

世界のトップを目指す選手たちの滑りは、競技会場を熱い歓声で包むことでしょう。もちろんサイドの声援が間近に届いて力が入るとの声も寄せられています。

